

酪農科学シンポジウム 2021 のご案内

2021 年度の酪農科学シンポジウムは下記の要領で開催予定です。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちして申し上げます。

今回のシンポジウムのテーマは「ミルク研究と応用：ミルクオリゴ糖・腸内細菌・健康促進乳成分の新展開」とし、ミルクサイエンスおよびそれに関連した領域で活躍されている研究者から基礎研究や技術開発の最新動向についての講演を賜ります。基調講演は大会委員長の強い希望により、浦島匡・日本酪農科学会会長にお願いしました。

なお、SARS-CoV-2 感染拡大による開催への影響が予測できませんので、シンポジウム開催様式は以下の 2 パターンを考えておりますが、いずれの場合においても学生や若手研究者のための口頭発表の時間帯を設定する予定であります。開催様式についての最終決定は 8 月末までに下し、学会 HP 上で告知する予定ですのでしばらくご猶予ください。また大変残念ではありますが、「情報交換会」および「若手の会」の開催は見合わせることにしました。

- 1) オンサイト・オンラインのハイブリッド開催（オンサイト入場者数に制限あり）
- 2) オンライン開催

日本酪農科学会会長 浦島 匡（帯広畜産大学教授）
大会委員長 片山 高嶺（京都大学教授）

◆酪農科学シンポジウム 2021

- 1) 主題：ミルク研究と応用：ミルクオリゴ糖・腸内細菌・健康促進乳成分の新展開
- 2) 主催：日本酪農科学会（JDSA）
- 3) 日時：2020 年 9 月 24 日（金）10:30～18:30（予定）※受付開始 9:50
- 4) 会場：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール 1 および 2
（〒606-8501 京都市左京区吉田本町 2-1200-3 電話 075-753-2285）
評議員会会場：会議室 2
- 5) プログラム：詳細は学会誌ミルクサイエンスの次号で紹介します。また、学会 HP（<http://www.jdta.or.jp/jdsa/>）でもご案内します。
- 6) シンポジウム参加費：4,000 円（ただし学生は無料）

◆一般講演（口頭発表）の募集（「若手優秀発表賞」の顕彰あり）

今回のシンポジウムにおける一般講演は、例年のようなポスター発表ではなく、5～10 分程度の口頭発表とする予定です（発表演題申し込み数で変わります）。35 歳未満の発表者で優秀な発表をされた方には「若手優秀発表賞」が顕彰されます。内容はミルクサイエンスに

関係する最近の知見であれば、既発表・未発表は問いません。ただし、他の学協会での受賞または受賞内容は顕彰の対象外とします。発表希望者は、演題名・発表者名・所属・要旨（200字以内）を、タテ 65 cm x ヨコ 14 cm の枠内に入力した原稿（電子ファイル）を 6 月 30 日（火）までに大会事務局プログラム担当：加藤紀彦（e-mail: tkatoh@lif.kyoto-u.ac.jp）宛てへ送付下さい。詳細は学会ホームページ（<http://www.jdta.or.jp/jdsa/>）をご参照下さい。なお、「若手優秀発表賞」顕彰を希望する発表者は、講演題目の前に星印（☆）をつけてお申し込み下さい。

◆大会事務局：シンポジウムに関するお問い合わせ

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学北部構内 農学・生命科学研究棟 609
京都大学大学院生命科学研究科

大会委員長：片山 高嶺 E-mail: takane@lif.kyoto-u.ac.jp

庶務担当：加藤 紀彦 E-mail: tkatoh@lif.kyoto-u.ac.jp

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地

帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 食品科学分野 食品機能学系

学会長：浦島 匡（教授） e-mail: urashima@obihiro.ac.jp

◆シンポジウム会場へのアクセス

詳細は下記 HP（建物番号 3）をご覧ください。

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-y>

京都駅からですと、市バス 206 系統（三十三間堂 清水寺 祇園・北大路バスターミナル行）もしくは 17 系統（四条河原町・銀閣寺行）にご乗車いただき、京大正門前（206 系統）もしくは百万遍（17 系統）で下車ください（約 30 分）。もしくは地下鉄烏丸線で今出川駅下車後、市バス 203 系統（銀閣寺・錦林車庫行）に乗り換えて百万遍で下車ください（約 30 分）。バス停からは徒歩 5 分程度です。観光客が多い場合には市バスが混雑する可能性がありますので、206 系統や 17 系統の利用にはご注意ください。